



# 栃木市小中学校施設長寿命化計画

栃木市教育委員会

2021（令和3）年3月

栃木市教育委員会事務局

教育部 学校施設課

## 目 次

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
(1) 背景	
(2) 目的	
(3) 計画期間	
(4) 対象施設	
2. 学校施設の目指すべき姿	4
3. 学校施設の実態	5
(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	
(2) 学校施設の老朽化状況の実態	
(3) 今後の維持・更新コストの検討	
4. 学校施設整備の基本的な方針等	24
(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針	
(2) 改修等の基本的な方針	
(3) 目標使用年数、改修周期の設定	
5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	27
(1) 改修等の整備水準	
(2) 維持管理の項目・手法等	
6. 長寿命化の実施計画	29
(1) 改修等の優先順位付けと実施計画	
(2) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～	
7. 長寿命化計画の継続的運用方針	30
(1) 情報基盤の整備と活用	
(2) 推進体制等の整備	
(3) 計画の見直しとフォローアップ	



## 1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

### (1) 背景

現在の栃木市は、平成 22 (2010) 年 3 月 29 日に、栃木市、大平町、藤岡町、都賀町の 1 市 3 町が合併し誕生しました。

その後、平成 23 (2011) 年 10 月 1 日に、西方町と合併し、さらに平成 26 (2014) 年 4 月 5 日に岩舟町と合併し、現在の栃木市を形成しています。

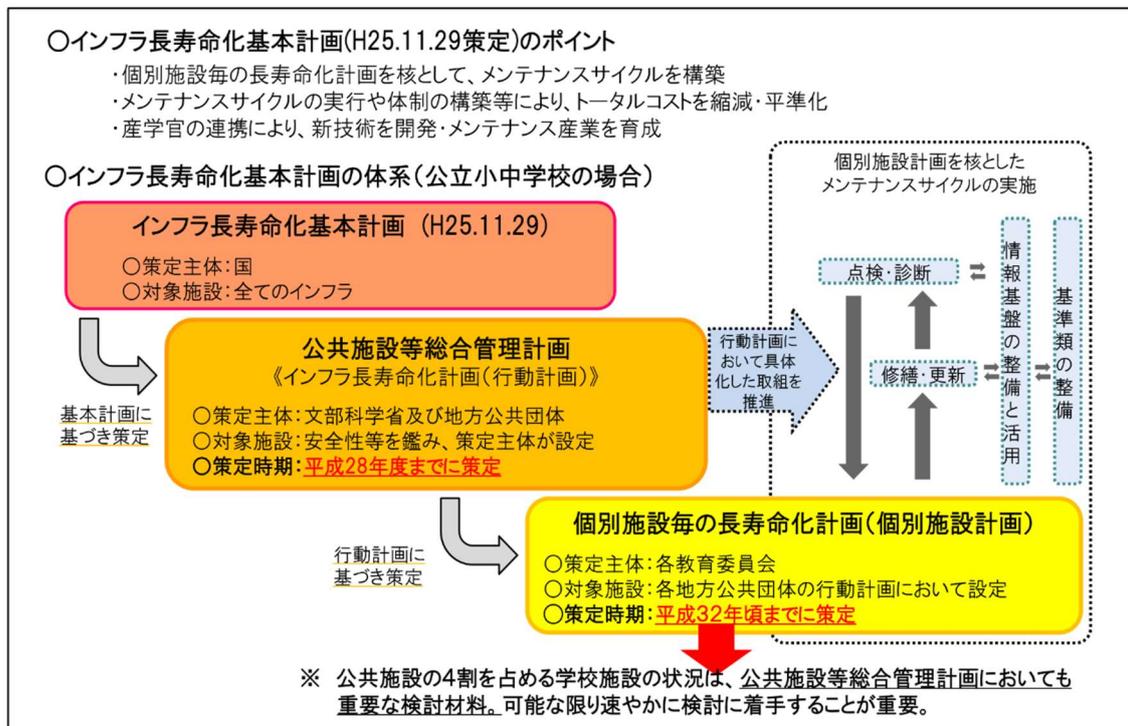
本市の学校施設は、昭和 40 年代から 60 年代にかけ人口増加に伴う児童生徒数の増加にあわせて、合併前のそれぞれの市町において、学校に関する施設整備を進めてきました。

しかし、今後はこれらの施設がほぼ同時期に改修、更新を迎えることや、施設の老朽化にともなう維持補修の増加など、多額の費用の支出が想定されます。

また、昭和 60 年代以降の児童生徒数の減少過程のなかで、多くの小中学校において小規模校化が進んでくるとともに、住宅開発等により大規模校化した学校も存在するなど、学校運営や指導体制等への様々な影響が懸念されるようになってきました。

これらのことから、教育上・学校運営上の諸課題等を解消するとともに、公平な教育環境を整え、教育の質の向上を図るため、学校適正配置の推進と学校施設の長寿命化を進める必要があります。

このような中、内閣府が平成 25 (2013) 年 11 月に策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、文部科学省では、平成 27 (2015) 年 3 月に「文部科学省インフラ長寿命化計画 (行動計画)」を策定し、所管施設などの長寿命化に向けた個別計画を、令和 2 (2020) 年度までに策定するよう各地方公共団体に求めています。



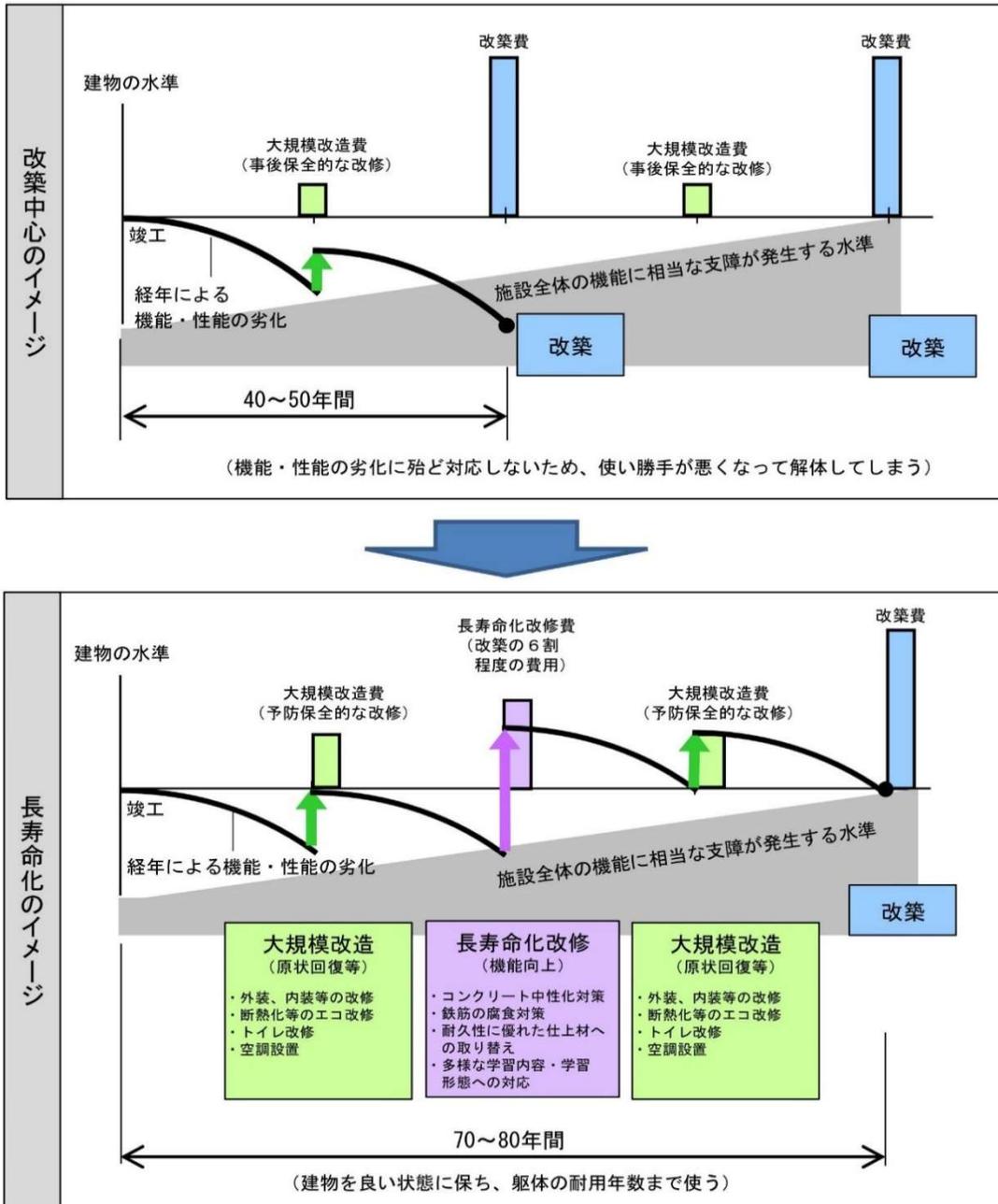
※出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

(2) 目的

建物や設備の改修について、これまでの「事後保全型」から計画的に改修する「予防保全型」へと維持管理手法をシフトすることで、建物の長寿命化、ライフサイクルコストの縮減及び財政負担の平準化を図っていきます。

また、建物並びに設備の機能について健全な状態に回復させることで、児童生徒の安全安心な学習環境を確保していきます。

■改築中心から長寿命化への転換イメージ



※出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

(3) 計画期間

本計画は、令和3(2021)年度から令和42(2060)年度までの40年間の計画期間とした経費の試算を行うこととし、別途、令和3(2021)年度からの10年間の中期的な実施計画を策定します。

なお、本計画については、学校の統廃合や学習環境の変化、市の財政状況などを勘案し適宜計画の見直しを行います。

(4) 対象施設

学 校 数		
小 学 校 29校	地域別内訳	
	栃木地域	13校
	大平地域	4校
	藤岡地域	4校
	都賀地域	3校
	西方地域	2校
	岩舟地域	3校
中 学 校 13校	地域別内訳	
	栃木地域	7校
	大平地域	2校
	藤岡地域	1校 ※
	都賀地域	1校
	西方地域	1校
	岩舟地域	1校

※藤岡第二中学校については、令和4年4月藤岡第一中学校への統合を進めていることから、本計画の対象施設から除きます。

## 2. 学校施設の目指すべき姿

本市では、平成 21（2009）年度より小中学校施設の耐震化事業を進め、平成 28（2016）年度の大平中学校の校舎改築により耐震化率 100%となりました。

今後は、一斉に改修時期を迎える学校施設について、一律的な建替えによる更新ではなく学校施設の長寿命化に向け、適切な維持・保全等の施設整備を進めます。

また、長寿命化を進めるにあたっては、将来の児童生徒数を想定した学校施設の適正配置計画と合わせて考えていきます。

さらに、学校施設は、多様な学習に対応でき、きめ細かな指導ができるような施設であるとともに、災害時の拠点としての役割を担う施設となる必要があることから、誰もが安全・安心・快適に利用できる空間と、省エネルギーに配慮した環境負荷の少ない施設、自然との共生等を考慮した施設環境を目指します。

<p><b>1. 安全性</b></p> <p><b>○災害対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震に強い学校施設</li> <li>・津波・洪水に強い学校施設</li> <li>・防災機能を備えた学校施設</li> </ul> <p><b>○防犯・事故対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心な学校施設</li> </ul> <p><b>2. 快適性</b></p> <p><b>○快適な学習環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習能率の向上に資する快適な学習環境</li> <li>・児童生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校</li> <li>・バリアフリーに配慮した環境</li> <li>・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間</li> </ul> <p><b>○教職員に配慮した環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員に配慮した空間</li> <li>・教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要な ICT 環境</li> </ul> <p><b>3. 学習活動への適応性</b></p> <p><b>○主体性を養う空間の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境</li> <li>・子どもたちの教科等に対する興味関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間</li> <li>・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間</li> <li>・社会性を身に付けるための空間</li> </ul> <p><b>○効果的・効率的な施設整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別指導や少人数指導などの、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間</li> <li>・調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間</li> <li>・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境</li> <li>・各教科等の授業を充実させるための環境</li> </ul> <p><b>○言語活動の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科等における発表・討論などの教育活動を行うための空間</li> <li>・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境</li> <li>・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境</li> </ul>	<p><b>3. 学習活動への適応性（続き）</b></p> <p><b>○理数教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した観察・実験を行うための環境</li> </ul> <p><b>○運動環境の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した運動ができる環境</li> </ul> <p><b>○伝統や文化に関する教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統や文化に関する教育を行うための環境</li> </ul> <p><b>○外国語教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動等におけるジェスチャーゲームなどの体を動かす活動や、ペアやグループでの活動など、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができると空間</li> </ul> <p><b>○学校図書館の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境</li> <li>・調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間</li> <li>・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境</li> <li>・地域に開かれた学校とするための環境</li> <li>・地域の生涯学習の拠点となる学校施設</li> </ul> <p><b>○キャリア教育・進路指導の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実したキャリア教育・進路指導を行うための環境</li> </ul> <p><b>○食育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育のための空間</li> </ul> <p><b>○特別支援教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーに配慮した環境</li> <li>・自閉症、情緒障害又は ADHD 等のある児童生徒に配慮した学校施設</li> </ul> <p><b>○環境教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題への関心を高めるためのエコスクール</li> </ul> <p><b>4. 環境への適応性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を考慮した学校施設（エコスクール）</li> </ul> <p><b>5. 地域の拠点化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心な学校施設</li> <li>・バリアフリーに配慮した環境</li> <li>・地域に開かれた学校とするための環境</li> <li>・地域の生涯学習の拠点となる学校施設</li> </ul>
--	--

「学校施設整備基本構想の在り方について」

（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議平成 25 年 3 月）より抜粋

### 3. 学校施設の実態

#### (1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

##### ① 学校施設一覧

栃木市が設置している市立の小中学校数は、小学校 29 校、中学校 14 校の 43 校であり、施設数は、128 棟、延べ床面積は 239,192 m<sup>2</sup>となっています。

そのうち、一般的に老朽化の進行が顕著となる築後 30 年を経過した施設は、96 棟、172,597 m<sup>2</sup>で、棟数比で全体の 75%、面積比で全体の 72%を占めています。

##### ■ 小学校一覧

No.	学校名	住所	延べ面積 (m <sup>2</sup> )	建築 年度	児童数 (人)		学級数 (学級)	
					通常学級 在籍者数	特別 支援	通常 学級	特別 支援
1	栃木中央小学校	栃木市入舟町 13-3	8,315	H23	529	14	18	4
2	栃木第三小学校	栃木市小平町 13-39	6,216	S37	387	16	12	3
3	栃木第四小学校	栃木市城内町 1-3-15	3,984	S46	210	10	8	2
4	栃木第五小学校	栃木市菌部町 2-7-25	5,500	S45	470	14	16	2
5	南小学校	栃木市沼和田町 38-10	4,631	S50	225	7	10	2
6	大宮南小学校	栃木市藤田町 135-2	3,101	S52	80	1	6	1
7	大宮北小学校	栃木市大宮町 1777-1	7,249	S47	666	20	23	4
8	皆川城東小学校	栃木市皆川城内町 486	3,612	S52	140	2	6	1
9	吹上小学校	栃木市吹上町 115	5,732	S48	301	10	12	3
10	千塚小学校	栃木市大森町 196	3,452	S52	114	4	6	1
11	寺尾小学校	栃木市梅沢町 1131-1	3,901	S50	86	0	6	0
12	国府南小学校	栃木市寄居町 949-3	3,793	S53	36	0	6	0
13	国府北小学校	栃木市大塚町 1278	5,424	S46	304	10	12	2
14	大平東小学校	栃木市大平町上高島 809	4,795	S46	210	6	9	2
15	大平南小学校	栃木市大平町西水代 1732	6,000	S51	292	21	12	4
16	大平西小学校	栃木市大平町富田 1869	5,303	S56	378	10	12	2
17	大平中央小学校	栃木市大平町新 1354-2	5,701	S53	569	22	18	4
18	藤岡小学校	栃木市藤岡町藤岡 1500	5,132	S51	230	7	10	3
19	部屋小学校	栃木市藤岡町部屋 158	3,236	S39	90	2	6	1
20	赤麻小学校	栃木市藤岡町赤麻 1703	3,339	S41	139	7	6	2
21	三鴨小学校	栃木市藤岡町甲 275-1	3,498	S44	168	7	7	2
22	合戦場小学校	栃木市都賀町合戦場 301	5,150	S55	318	7	12	2

23	家中小学校	栃木市都賀町家中 2740	4,785	S56	162	6	6	2
24	赤津小学校	栃木市都賀町富張 147	3,789	S54	120	6	6	2
25	西方小学校	栃木市西方町元 770	3,769	S51	214	5	9	2
26	真名子小学校	栃木市西方町真名子 1089-1	1,879	S43	40	0	6	0
27	岩舟小学校	栃木市岩舟町静 1400-1	6,843	S56	373	10	13	2
28	静和小学校	栃木市岩舟町静和 2432	6,379	S58	245	7	11	2
29	小野寺小学校	栃木市岩舟町下岡 646-5	2,872	S61	97	0	6	0
			137,380		7,193	231	290	57

※建築年度は、最も古い建物の建築年を掲載

※児童数及び学級数については、令和2(2020)年5月1日現在

### ■中学校一覧

No.	学校名	住所	延べ面積 (㎡)	建築 年度	生徒数(人)		学級数(学級)	
					通常学級 在籍者数	特別 支援	通常 学級	特別 支援
1	栃木東中学校	栃木市日ノ出町 1-11	8,940	S41	237	9	9	3
2	栃木西中学校	栃木市片柳町 2-15-40	9,290	S41	440	14	14	3
3	栃木南中学校	栃木市本町 5-5	8,045	S42	198	5	7	2
4	東陽中学校	栃木市大宮町 1287-1	8,285	S44	562	8	18	2
5	皆川中学校	栃木市皆川城内町 1856	4,760	S62	74	3	3	1
6	吹上中学校	栃木市吹上町 434-1	6,393	S42	225	5	8	1
7	寺尾中学校	栃木市鍋山町 86-2	5,618	S43	38	0	3	0
8	大平中学校	栃木市大平町蔵井 2026-1	7,260	S53	354	12	12	2
9	大平南中学校	栃木市大平町西野田 825	7,397	S58	492	16	15	3
10	藤岡第一中学校	栃木市藤岡町藤岡 10	9,027	S61	288	11	10	2
11	藤岡第二中学校	栃木市藤岡町富吉 1544	4,020	S55	44	3	3	1
12	都賀中学校	栃木市都賀町家中 5818	9,278	S58	311	17	10	4
13	西方中学校	栃木市西方町元 908-1	4,246	S41	144	3	6	1
14	岩舟中学校	栃木市岩舟町静 389-1	9,253	S51	339	10	12	2
			101,812		3,746	116	130	27

※建築年度は、最も古い建物の建築年を掲載

※生徒数及び学級数については、令和2(2020)年5月1日現在

## ② 児童生徒数及び学級数の変化

## ■児童生徒数の推移

	過去の推移					将来予測				
	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
小学校	7,905	7805	7,729	7,605	7,424	7,169	6,966	6,781	6,590	6,482
中学校	4,318	4,143	3997	3,865	3,862	3,776	3,738	3,595	3,479	3,313
合 計	12,223	11,948	11,726	11,470	11,286	10,945	10,704	10,376	10,069	9,795

※5月1日現在

推計調査より

## ■学級数の推移

	過去の推移					将来予測				
	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
小学校	336	349	350	352	347	302	289	285	278	274
中学校	158	158	157	159	157	133	130	129	129	126
合 計	494	507	507	511	504	435	419	414	407	400

※5月1日現在

推計調査より

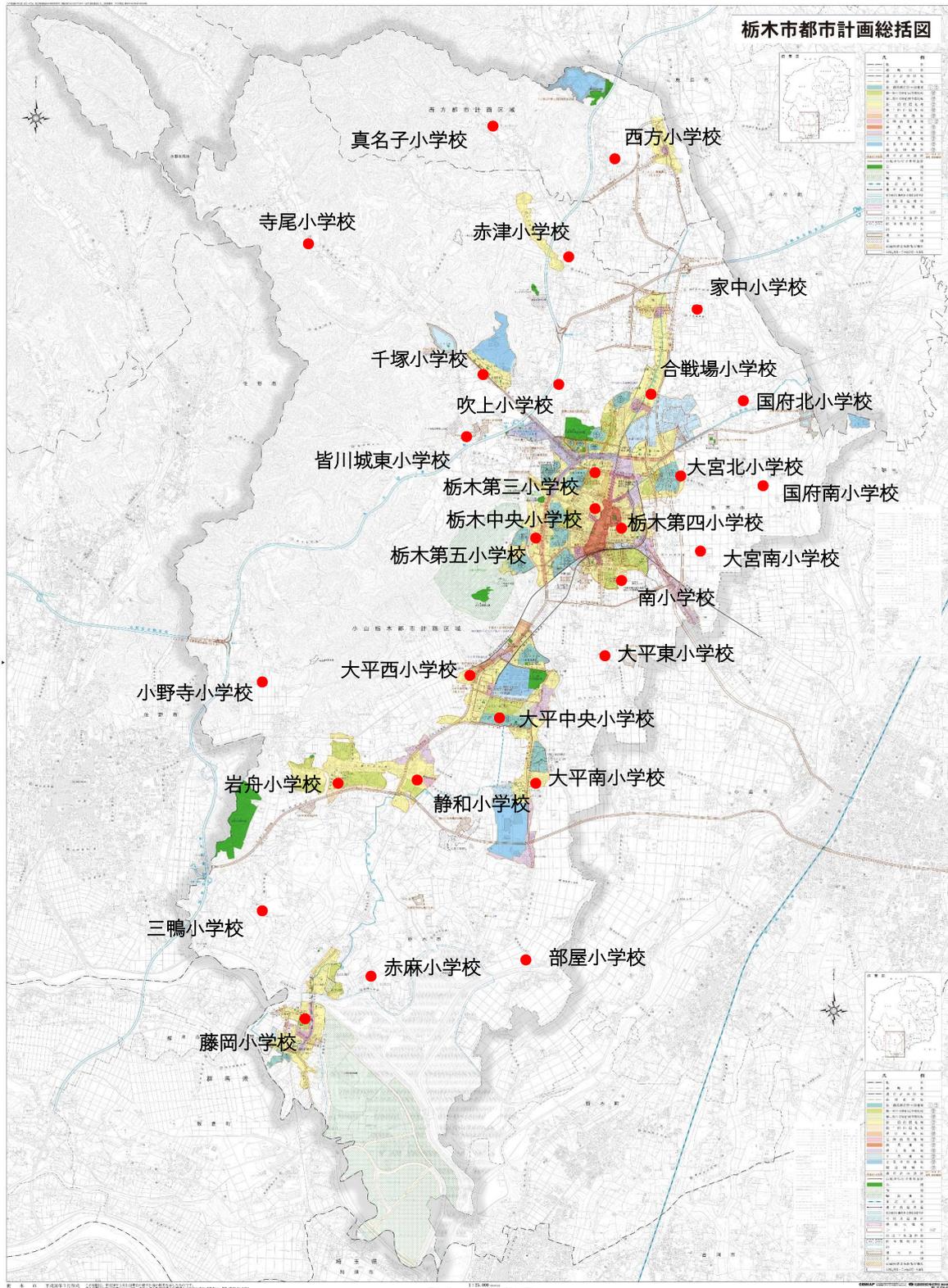
令和2(2020)年5月現在、本市においては、国の適正な学校規模の基準の内、12学級を下回る小学校が約62%を占め、また、9学級を下回る中学校が約43%を占めています。

今後についても、全国的な少子化の進行により児童生徒数が減少し、栃木市においてもその傾向は顕著です。

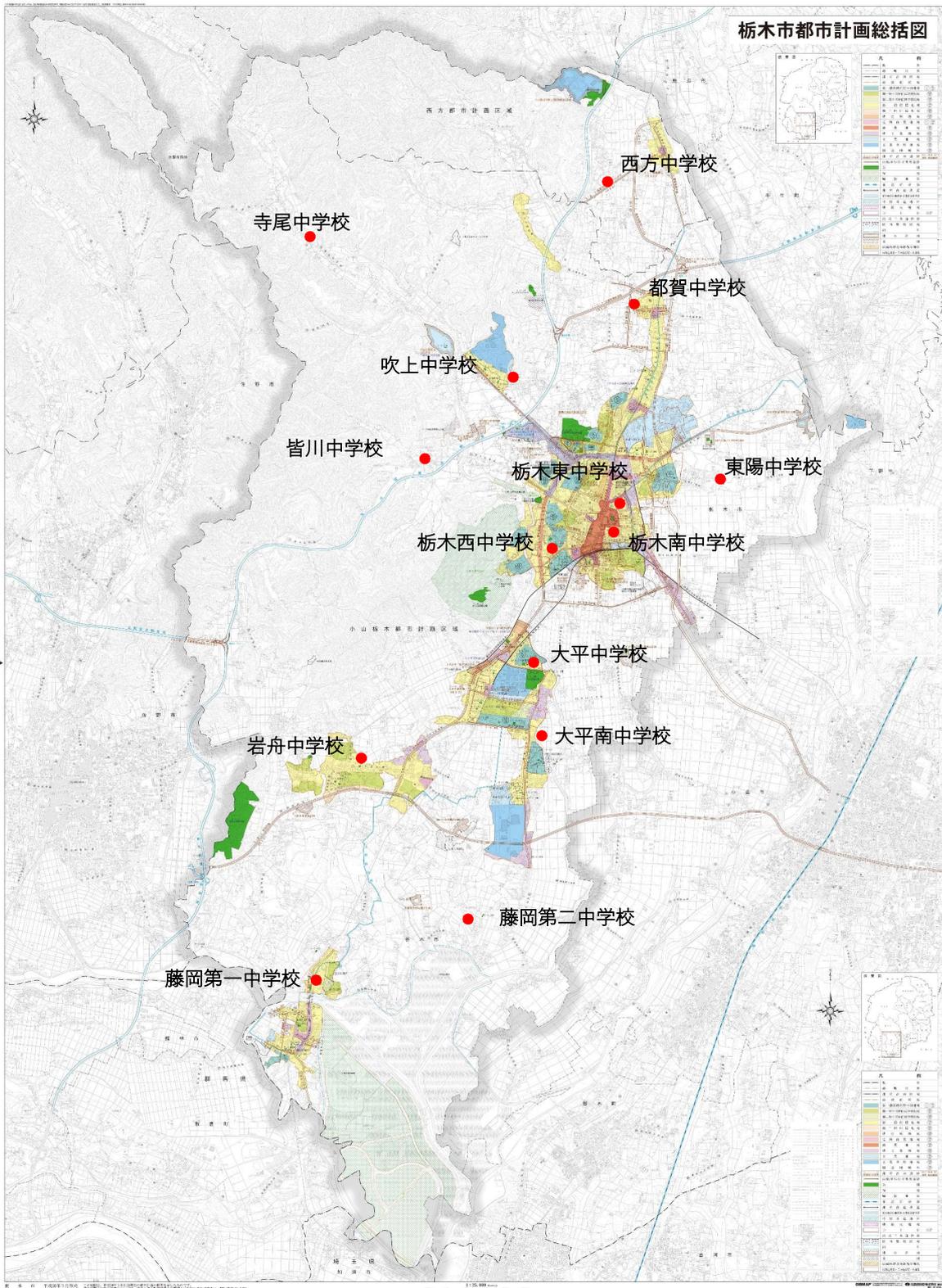
これらのことから、平成28(2016)年2月に学校規模の基準を定めた「栃木市立小中学校適正配置基本方針」を策定し学校規模の基準を定め、その後、平成31(2019)年1月には10年後及び20年後の目指すべき学校規模を想定した「栃木市立中学校適正配置基本構想」を策定しました。

③ 学校施設の配置状況

■ 小学校配置図



■ 中学校配置図



④ 施設関連経費の推移

■小学校

(千円)

	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	5年間の平均
施設整備費	2,800,237	766,340	527,872	585,423	185,452	973,100
維持管理費	22,798	26,461	24,008	23,998	25,201	24,500
光熱水費・委託費等	170,529	159,344	173,660	184,803	176,288	172,900
施設関連経費の合計	2,993,564	952,145	725,540	794,224	386,941	1,170,500

※大規模な施設整備事業等

- ・家中小学校屋内運動場改築事業 (H27)
- ・大平南小学校校舎整備事業 (H27～H28)
- ・小学校普通教室等エアコン設置事業 (H27～H28)
- ・小学校洋式トイレ改修事業 (H27～H30)

■中学校

(千円)

	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	5年間の平均
施設整備費	1,232,004	1,780,022	294,297	131,169	300,015	747,500
維持管理費	14,369	16,122	14,855	15,396	15,166	15,200
光熱水費・委託費等	87,632	83,472	90,513	89,286	102,647	90,700
施設関連経費の合計	1,334,005	1,879,616	399,665	235,851	417,828	853,400

※大規模な施設整備事業等

- ・大平中学校校舎等整備事業 (H27～H28)
- ・栃木南中学校武道場整備事業 (H27)
- ・東陽中学校敷地拡張整備事業 (H27～H30)
- ・中学校普通教室等エアコン設置事業 (H26)
- ・中学校洋式トイレ改修事業 (H30～)

■合計

(千円)

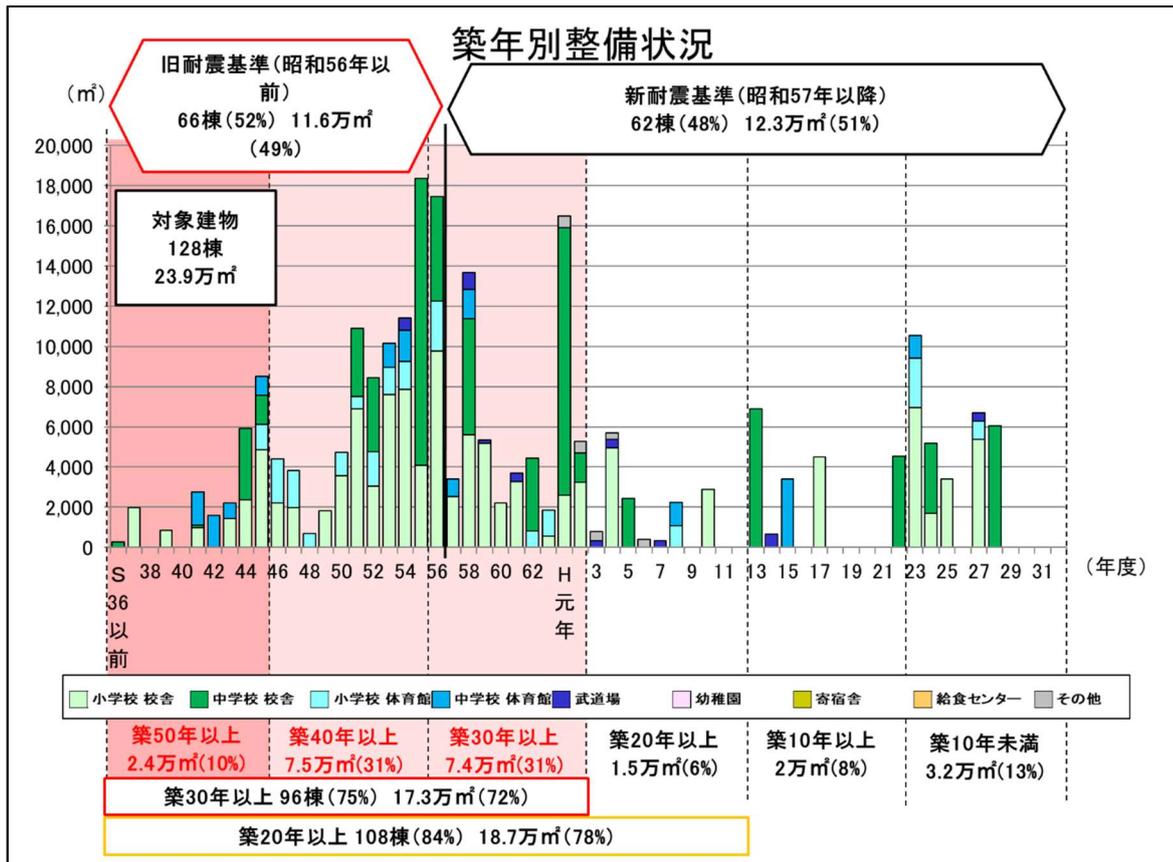
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	5年間の平均
施設整備費	4,032,241	2,546,362	822,169	716,592	485,466	1,720,600
維持管理費	37,166	42,583	38,863	39,394	40,367	39,700
光熱水費・委託費等	258,161	242,815	264,173	274,089	278,935	263,600
施設関連経費の合計	4,327,568	2,831,760	1,125,205	1,030,075	804,768	2,023,900

⑤ 学校施設の保有量

小中学校における計画対象の施設は 125 棟、23.9 万㎡であり、そのうち築 30 年以上の建物が 94 棟、17.2 万㎡（72%）を占めています。

また 10 年後には 78%が老朽化することから、長寿命化を含めた改修計画の必要が重要であると考えます。

なお、藤岡第二中学校については、令和 4（2022）年 4 月の藤岡第一中学校への統合を進めていることから、長寿命化の対象施設から除きます。



(2) 学校施設の老朽化状況の実態

① 学校施設の劣化状況等の調査

劣化状況の把握では、建物ごとの屋根・屋上、外壁、設備機器等の劣化状況や改修時期を把握するとともに、建築基準法第12条点検の結果を建物ごとに整理し、部位ごとの劣化状況をA、B、C、Dの4段階で評価します。

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化 D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

経過年数による評価  
【内部仕上げ、電気設備、  
機械設備】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標である。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定する。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に按分して設定している。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。  
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)

	評価	評価点	配分	
1 屋根・屋上	C	40	5.1	= 204
2 外壁	D	10	17.2	= 172
3 内部仕上げ	B	75	22.4	= 1,680
4 電気設備	A	100	8.0	= 800
5 機械設備	C	40	7.3	= 292
計				3,148
				÷ 60
健全度				52

■劣化状況調査表雛形

通し番号			
学校名	学校番号	調査日	
建物名			記入者
棟番号	建築年度	年度( 年度)	
構造種別	延床面積	m <sup>2</sup>	階数 地上 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ( )			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトンを目視点検できない			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ( )			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井 (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
0 / 100点

評価基準：屋根・屋上

目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。 良好

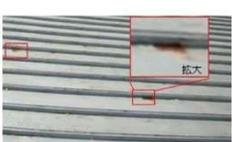
《解説》

《点検項目》

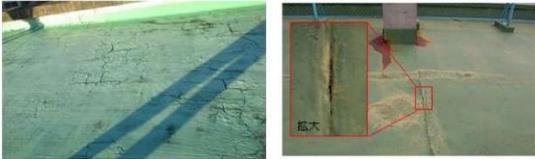
- ✓ 最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と思われるシミやカビがないか。
- ✓ 防水面において、膨れ・剥がれ・破れ・穴開きなどがないか。
- ✓ 金属屋根においては、錆・損傷・腐食などがないか。
- ✓ 上記のような劣化事象の箇所数を記入。

《点検の留意点》

- ✓ ルーフドレイン（屋上排水口）や排水溝は、緩い勾配がつけられている屋上で、最も低い部分で、土砂などが溜まりやすくなっており、ここが詰まると屋上に水溜りができてしまい、劣化が進み、漏水が発生する恐れがある。
- ✓ 目視だけでなく歩行により、浮きや水ぶくれ等がないか確認する。
- ✓ パラペット立上り部分の防水端部で、剥がれ等がないか確認する。
- ✓ 屋内運動場の屋根は、容易に登れない場合は隣接する校舎の屋上等から観察する。
- ✓ 1箇所の劣化事象だけでなく、全体の経年状況等を踏まえる。
- ✓ 現状のまま放置すると、他の場所でも同じように劣化が進行する可能性がある場合は評価を1段階引き下げる。
- ✓ 現状として、降雨時に複数箇所雨漏りしている場合をD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。ただし、屋上防水は改修済でも、天井ボードは既存のままとなっている学校が多く、見極める必要がある。

評価仕様	A	B
アスファルト保護防水	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)</p>	 <p>部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある。</p>
アスファルト露出防水	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)</p>	 <p>部分的に、ふくれ、変質(摩耗)、排水不良がある。</p>
シート防水	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)</p>	 <p>部分的に、ふくれ、しわ、変質(摩耗)、排水不良がある。</p>
塗膜防水	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)</p>	 <p>部分的にふくれ、しわ、変質(スポンジ状)、排水不良がある。</p>
金属板(長尺、折板、平葺き)	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)</p>	 <p>部分的に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、金物のさびがある。</p>

劣化

		劣化	
	C	D	
	 <p>広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、雑草、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。</p>	 <p>広範囲に、損壊、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。</p>	
	 <p>広範囲に、ひび割れ、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。</p>	 <p>広範囲に、破断、損壊、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。</p>	
	 <p>広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある</p>	 <p>広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある</p>	
	 <p>広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。</p>	 <p>広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。</p>	
	 <p>広範囲に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、取付金物のさび、部分的な腐食・損壊があり、最上階天井に漏水痕がある。</p>	 <p>広範囲に、さび、はがれ、腐食、取付金物の損壊があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。</p>	

評価基準：外壁

目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。 良好

《解説》

《点検項目》

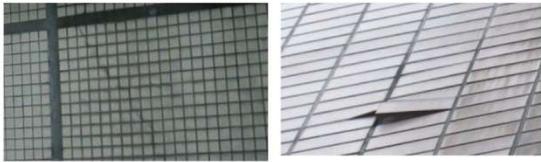
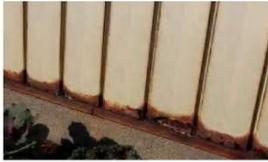
- ✓ 外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。
- ✓ 外壁の室内側において、雨漏りと思われるシミ垂れや塗装の剥がれがないか。また、降雨時や翌日に床面に水溜りができてないか。
- ✓ 外装材（モルタル・タイル・吹き付け材などの仕上げ材）の亀裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損などがないか。
- ✓ 建具枠、蝶番などの腐食、変形、ぐらつきなどがないか。
- ✓ 窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剥れなどがないか。
- ✓ 上記のような劣化事象の箇所数を記入。

《点検の留意点》

- ✓ 目視によって外壁の状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。
- ✓ 外壁のタイル、モルタルなどに剥落やふくれ、浮きを発見した場合は、直ちに、周囲に立ち入りできないよう措置を行う。また、部分的に打診による浮きの確認をすることが望ましい。
- ✓ スチールサッシは、錆の影響による開閉不良・鍵の破損等について確認する必要がある。
- ✓ 現状として降雨時に複数箇所雨漏りしている場合をD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。
- ✓ 鉄筋の露出は、概ね5箇所以上をD評価とする。

仕様	評価	A	B
塗り仕上げ	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ・変質・浮き・さび汁がある。	
タイル張り 石張り	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがある。	
金属系 パネル	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、さび・変質・シーリング材のひびがある。	
セメント系 パネル	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ・変質・欠損・シーリング材のひびがある。	
窓 (サッシ)	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、変形・変質・シーリング材の硬化。	

劣化

C	D
 <p>広範囲に、ひび割れ・亀甲状のひび割れ・変質・浮き・剥がれ・さび汁があり、小規模な漏水がある。</p>	 <p>広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。</p>
 <p>広範囲に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがあり、小規模な漏水がある。</p>	 <p>広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。</p>
 <p>広範囲に、さび・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。</p>	 <p>広範囲に、さび・腐食・ぐらつき・取付金物の腐食があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。</p>
 <p>広範囲に、ひび割れ・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。</p>	 <p>欠落・ぐらつき・取付金物の腐食・シーリング材の欠落があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。</p>
 <p>全体的に、変形・変質・さび・シーリングの硬化・ひび割れが見られる。</p>	 <p>全体的に腐食・損壊・開閉不良があり、漏水がある。</p>

**評価基準：内部仕上、電気設備、機械設備**

部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。

**＜解説＞**

内部仕上と設備は修繕・改修や点検の履歴を基に、経過年数により4段階で評価することを基本とする。ただし、現地目視により、右頁にあるような事象があれば、それらも加味して総合的に評価すること。

対象となる部位、及びC/D評価に該当する事象例を右表に示す。

＜点検項目＞

- ✓ 内部においては、床・壁・天井のコンクリートの亀裂やボード類の浮きや損傷などがないか。
- ✓ 天井ボードの落下や床シートの剥がれなどにより安全性が損なわれているところがないか。
- ✓ 設備機器においては、機器や架台に錆・損傷・腐食などがないか。
- ✓ 設備機器に漏水・漏油などがないか。
- ✓ 給水設備においては、使用水に赤水や異臭がないか。
- ✓ 機器から異音はしていないか。
- ✓ 保守点検や消防の査察などで是正措置等の指摘がないか。

＜点検の留意点＞

- ✓ 目視によって状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。
- ✓ 受変電設備等の高圧機器は、フェンスの外から目視により確認する。
- ✓ 施設管理者からのヒアリングも有効。
- ✓ 目視で評価する場合、複数台あるうち、1台の機器の劣化事象だけで判断するのではなく、設備全体として評価する。

該当する部位	
内部仕上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 床、壁、天井</li> <li>● 内部開口部(扉、窓、防火戸)</li> <li>● 室内表示、手すり、固定家具など</li> <li>● 照明器具、衛生器具、冷暖房器具</li> </ul>
電気設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物内の分電盤・配線・配管 (電灯・コンセント設備) (弱电設備)</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">受変電設備、自家発電設備、幹線設備は、学校施設の共用設備のため対象外とする。</p>
機械設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・ガス配管</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">受水槽、高置水槽、浄化槽、各種ポンプ、屋外配管は、共用設備のため対象外とする。</p>

CまたはDの事象(例)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部仕上げと設備機器について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の教室のみの改修</li> <li>・天井張替え、壁の塗り替え、照明器具交換など、部位、機器のみの改修工事</li> </ul> </li> <li>● 広範囲(25%以上の面積)または随所(5か所以上)に劣化事象がみられる場合は、評価を1段階下げることを目安とする。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>床仕上げの剥がれ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>床のひび割れ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>天井材の落下・剥がれ</p> </div> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・受変電設備の更新</li> <li>・防災設備、放送設備など、単独設備の更新</li> </ul>                     (評価例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚室やコンピューター室などの改修(整備)はしているが、他の部分は40年以上経過している場合は、C評価</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・部分的な修繕等</li> </ul>                     (評価例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・給水配管の更新済みで、排水配管は40年以上経過してる場合は、C評価</li> <li>・給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、D評価</li> </ul> </li> </ul>

② 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

建物情報一覧表		築50年以上		築30年以上		基準 2020		A 概ね良好		C 広範囲に劣化		B 部分的に劣化		D 早急に対応する必要がある									
通し番号	施設名	建物基本情報							構造躯体の健全性					劣化状況評価					備考				
		建物名	棟番号	建物用途	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上		電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
								西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)								試算上の区分
1	栃木中央小学校	校舎	12,13	校舎	RC	4	6954	2011	H23	9	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
2		体育館	15	体育館	S	2	1361	2011	H23	9	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
3	栃木第三小学校	校舎1(南)	1	校舎	RC	3	1979	1962	S37	58	旧	済	済	H22	18	長寿命	C	C	D	D	D	21	
4		校舎2(中)	20	校舎	RC	3	2202	1985	S60	35	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	
5		校舎3(北)	21	校舎	RC	2	1238	1986	S61	34	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	
6		体育館	13,14	体育館	S	1	797	1970	S45	50	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
7	栃木第四小学校	校舎	16	校舎	RC	3	3386	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
8		体育館	11,22	体育館	S	1	598	1971	S46	49	旧	済	済	H16	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	
9	栃木第五小学校	校舎	5	校舎	RC	3	4864	1970	S45	50	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
10		体育館	6	体育館	S	1	636	1972	S47	48	旧	済	済	H16	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	
11	南小学校	校舎	1,13	校舎	RC	3	3561	1975	S50	45	旧	済	済	H20	21.3	長寿命	C	C	C	D	D	32	
12		校舎	10	校舎	RC	2	277	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
13		体育館	8,9	体育館	S	1	793	1978	S53	42	旧	済	済	H15	-	長寿命	A	B	C	D	D	48	
14	大宮南小学校	校舎	13	校舎	RC	3	2536	1982	S57	38	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
15		体育館	10,11	体育館	S	1	565	1977	S52	43	旧	済	済	H23	-	長寿命	A	C	D	D	D	26	
16	大宮北小学校	校舎1	23	校舎	RC	4	4897	1978	S53	42	旧	済	済	H20	23.6	長寿命	B	B	C	C	C	53	
17		校舎2	32	校舎	RC	4	1699	2012	H24	8	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
18		体育館	15,31	体育館	S	1	653	1972	S47	48	旧	済	済	H22	18	長寿命	A	B	D	D	D	36	
19	皆川城東小学校	校舎	1	校舎	RC	3	3045	1977	S52	43	旧	済	済	H23	23.5	長寿命	C	C	D	D	D	21	
20		体育館	6,7	体育館	S	1	567	1977	S52	43	旧	済	済	H23	-	長寿命	A	B	C	D	D	48	
21	吹上小学校	校舎1(東)	15	校舎	RC	4	2455	1979	S54	41	旧	済	済	H23	39.2	長寿命	B	C	C	C	C	43	
22		校舎2(西)	25	校舎	RC	3	2595	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	
23		体育館	11,12	体育館	S	1	682	1973	S48	47	旧	済	済	H17	-	長寿命	A	A	D	D	D	43	
24	千塚小学校	校舎	17	校舎	RC	3	2882	1998	H10	22	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
25		体育館	13,14	体育館	S	1	570	1977	S52	43	旧	済	済	H23	18	長寿命	B	B	C	C	C	53	
26	寺尾小学校	校舎1(北)	7	校舎	RC	2	2003	2013	H25	7	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
27		校舎2(南)	8	校舎	RC	2	1383	2013	H25	7	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
28		体育館	1,2	体育館	S	1	515	1975	S50	45	旧	済	済	H25	-	長寿命	B	B	C	D	D	45	
29	国府南小学校	校舎	18	校舎	RC	3	3224	1990	H2	30	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
30		体育館	12,22	体育館	S	1	569	1978	S53	42	旧	済	済	H22	-	長寿命	A	B	C	D	D	48	
31	国府北小学校	校舎1(西)	20	校舎	RC	3	2285	1992	H4	28	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
32		校舎2(東)	21	校舎	RC	3	2674	1992	H4	28	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
33		体育館	10,14	体育館	S	1	465	1971	S46	49	旧	済	済	H23	-	長寿命	A	C	D	D	D	26	
34	大平東小学校	校舎1(北)	15,20	校舎	RC	2	2195	1971	S46	49	旧	済	済	H21	31.4	長寿命	C	C	D	D	D	21	
35		校舎2(南)	16	校舎	RC	2	1964	1972	S47	48	旧	済	済	H21	33.5	長寿命	C	C	D	D	D	21	
36		体育館	18,23	体育館	S	2	636	1975	S50	45	旧	済	済	H23	18	長寿命	B	B	D	D	D	34	
37	大平南小学校	校舎	18	校舎	RC	3	5379	2015	H27	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
38		体育館	8	体育館	S	2	621	1976	S51	44	旧	済	済	H23	18	長寿命	A	A	C	D	D	55	
39	大平西小学校	校舎1(東)	24	校舎	RC	1	1300	2005	H17	15	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
40		校舎2(西)	25	校舎	RC	2	3206	2005	H17	15	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
41		体育館	11,27	体育館	S	1	797	1981	S56	39	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	C	C	66	
42	大平中央小学校	校舎1(西)	1,10	校舎	RC	3	2696	1978	S53	42	旧	済	済	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
43		校舎2(東)	2	校舎	RC	3	2236	1979	S54	41	旧	済	済	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
44		体育館	4,11	体育館	S	2	769	1979	S54	41	旧	済	済	H24	18	長寿命	B	C	D	D	D	24	
45	藤岡小学校	校舎	12,16	校舎	RC	3	3836	1976	S51	44	旧	済	済	H23	32.7	長寿命	D	D	D	D	D	10	
46		体育館	14	体育館	S	2	1296	1988	S63	32	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	B	B	62	
47	部屋小学校	校舎1(東)	2,14	校舎	RC	2	864	1964	S39	56	旧	済	済	H24	30.5	長寿命	D	D	D	D	D	10	
48		校舎2(西)	11,12	校舎	RC	3	1807	1974	S49	46	旧	済	済	H25	-	長寿命	D	D	D	D	D	10	
49		体育館	10	体育館	S	3	565	1971	S46	49	旧	済	済	-	-	長寿命	D	D	B	D	D	34	
50	赤麻小学校	校舎1(東)	2	校舎	RC	2	983	1966	S41	54	旧	済	済	H20	21.6	長寿命	D	D	D	D	D	10	
51		校舎2(西)	10	校舎	RC	3	1791	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	C	C	C	29	
52		体育館	9	体育館	S	1	565	1971	S46	49	旧	済	済	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
53	三鴨小学校	校舎1(南)	4	校舎	RC	3	2360	1969	S44	51	旧	済	済	H23	16.6	長寿命	D	D	D	D	D	10	
54		校舎	9	校舎	RC	2	560	1988	S63	32	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
55		体育館	7	体育館	S	1	578	1972	S47	48	旧	済	済	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	98	
56	合戦場小学校	校舎	2	校舎	RC	4	4067	1980	S55	40	旧	済	済	H23	18.9	長寿命	C	C	C	C	C	40	
57		体育館	7	体育館	S	1	1083	2011	H23	9	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
58	家中小学校	校舎	3,4	校舎	RC	3	3892	1981	S56	39	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
59		体育館	10	体育館	S	1	893	2015	H27	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
60	赤津小学校	校舎	1,10	校舎	RC	3	3177	1979	S54	41	旧	済	済	H23	31.5	長寿命	C	C	C	C	C	40	
61		体育館	7	体育館	S	2	612	1979	S54	41	旧	済	済	H23	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
62	西方小学校	校舎	19,30	校舎	RC	3	3044	1976	S51	44	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	B	C	C	66	
63		体育館	21	体育館	S	1	725	1981	S56	39	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	
64	真名子小学校	校舎	1	校舎	RC	2	1425	1968	S43	52	旧	済	済	-	-	長寿命	A	C	C	B	D	46	
65		体育館	3,9	体育館	S	1	454	1970	S45	50	旧	済	済	H21	-	長寿命	A	A	A	C	C	85	
66	岩舟小学校	校舎 食堂	1,9	校舎	RC	4	5868	1981	S56	39	旧	済	済	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
67		体育館	6	体育館	RC	2	975	1981	S56	39	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
68	静和小学校	校舎	1	校舎	RC	4	5317	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
69		体育館	9	体育館	RC	1	1062	1996	H8	24	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
70	小野寺小学校	校舎	13	校舎	RC	2	2042	1986	S61	34	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
71		体育館	17	体育館	RC	2	830	1987	S62	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	

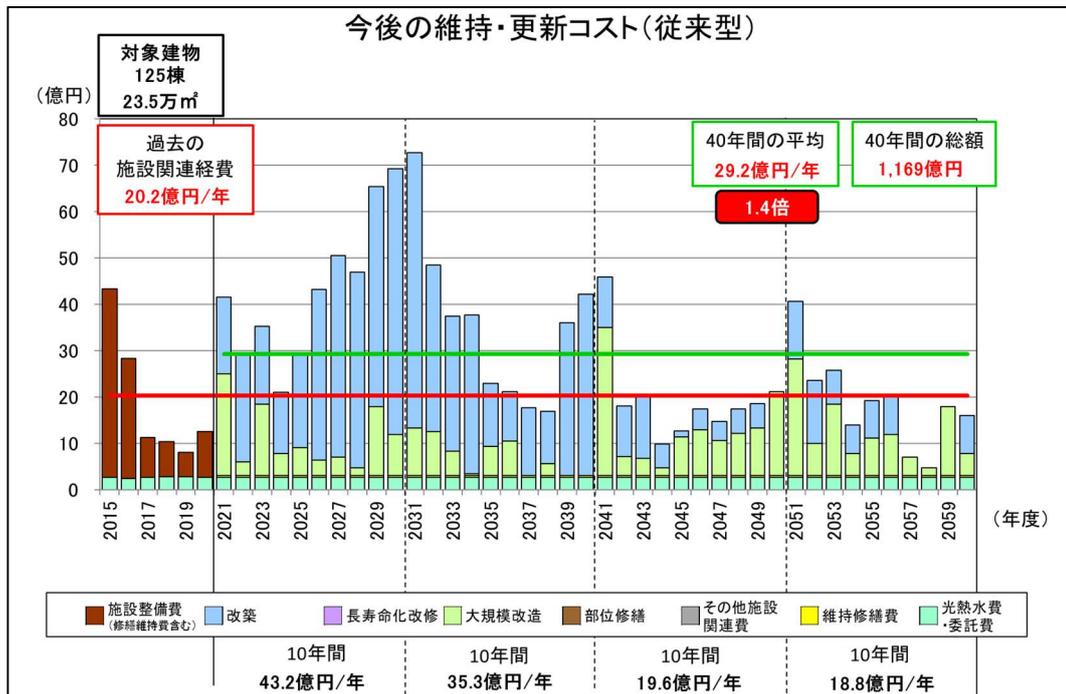
建物情報一覧表		築50年以上		築30年以上		基準 2020		A 概ね良好		C 広範囲に劣化		B 部分的に劣化		D 早急に対応する必要がある									
通し 番号	施設名	建物基本情報						構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考			
		建物名	棟番号	建物用途	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度			耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上		電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
								西暦	和暦	築年 数	基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/ ㎡)	試算上 の区分							
1	栃木東中学校	校舎1	19	校舎	RC	4	4554	1980	S55	40	旧	済	済	H20	28.2	長寿命	C	C	C	C	C	40	
2		校舎2(倉工木工室)	27	校舎	S	1	342	1981	S56	39	旧	済	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
3		校舎3(南)	30	校舎	RC	2	2427	1993	H5	27	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
4		部室棟	33	その他	RC	2	403	1994	H6	26	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
5		体育館	14.37.38	体育館	S	1	890	1966	S41	54	旧	済	済	H17	27.3	長寿命	B	C	B	C	C	56	
6		武道場	34	武道場	RC	1	324	1995	H7	25	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
7	栃木西中学校	校舎	21、38、39	校舎	RC	4	6977	1980	S55	40	旧	済	済	H20	25.5	長寿命	B	B	C	D	D	45	
8		校舎2(倉工木工室)	8	校舎	W	1	272	1961	S36	59	旧	-	-	-	-	要調査	D	D	D	D	D	10	
9		校舎3(卓球場)	7	校舎	W	1	116	1966	S41	54	旧	-	-	-	-	要調査	D	D	D	D	D	10	
10		体育館	6	体育館	S	2	1130	2011	H23	9	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
11		部室棟	34	その他	RC	2	468	1991	H3	29	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	C	C	C	43	
12		武道場	35	武道場	RC	1	327	1991	H3	29	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	C	C	C	43	
13	栃木南中学校	校舎	29	校舎	R	4	6806	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	C	C	C	29	
14		体育館	11、15、23	体育館	S	1	806	1967	S42	53	旧	済	済	H17	36.4	長寿命	B	C	D	D	D	24	
15		武道場	36	武道場	S	1	433	2015	H27	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
16	東陽中学校	校舎1(南)	1	校舎	RC	3	3577	1969	S44	51	旧	済	済	H20	25.6	長寿命	C	D	D	D	D	13	
17		校舎2(北)	2	校舎	RC	2	1125	1970	S45	50	旧	済	済	H20	25.8	長寿命	C	C	D	D	D	21	
18		校舎3(倉工木工室)	3	校舎	S	1	315	1970	S45	50	旧	済	-	-	-	要調査	A	D	D	D	D	18	
19		校舎4(北の中)	16	校舎	RC	2	500	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
20		校舎5(北の東)	20	校舎	RC	2	739	1990	H2	30	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
21		部室棟	21	その他	RC	2	567	1990	H2	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	B	C	45	
22		体育館	4.14.27	体育館	S	1	966	1970	S45	50	旧	済	済	H15	27.3	長寿命	D	D	D	D	D	10	
23		武道場(プレハブ)	16、18	武道場		1	150	1984	S59	36	新	-	-	-	-	改築	D	D	D	D	D	10	
24		卓球場(プレハブ)	22	その他		1	346	1992	H4	28	新	-	-	-	-	改築	D	D	D	D	D	10	
25	皆川中学校	校舎	18	校舎	RC	3	3589	1987	S62	33	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	C	C	63	
26		体育館	23	体育館	RC	2	1171	1996	H8	24	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
27	吹上中学校	校舎1	29	校舎	RC	4	4858	1981	S56	39	旧	済	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
28		校舎2 部室	35	その他	RC	2	736	1990	H2	30	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
29		体育館	13.31.32.33	体育館	S	1	799	1967	S42	53	旧	済	済	H22	-	長寿命	B	C	B	D	D	48	
30	寺尾中学校	校舎1	23	校舎	RC	3	2607	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	C	C	56	
31		校舎2 地域 部室	24	校舎	RC	3	1640	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	
32		宿泊施設	25	その他	RC	3	593	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	
33		体育館	10、16	体育館	S	1	778	1968	S43	52	旧	済	済	H17	-	長寿命	C	D	C	D	D	24	
34	大平中学校	校舎	2	校舎	RC	4	6066	2016	H28	4	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
35		体育館	11	体育館	S	2	1194	1978	S53	42	旧	済	済	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
36	大平南中学校	校舎1	1、13	校舎	RC	4	5022	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	C	C	C	31	
37		校舎2(倉工木工室)	2、15	校舎	RC	1	264	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	
38		体育館	7、8	体育館	S	1	1456	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	C	C	53	
39		武道場	16	武道場	S	1	655	2002	H14	18	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
40	藤岡第一中学校	校舎	19、20	校舎	RC	3	6882	2001	H13	19	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67	
41		体育館	26	体育館	RC	2	1740	2003	H15	17	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	B	C	80	
42		武道場	10	武道場	S	1	405	1986	S61	34	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
43	藤岡第二中学校	校舎	14	校舎	RC	3	2765	1980	S55	40	旧	済	済	H25	34	長寿命	C	C	C	C	C	40	R4.4統合
44		体育館	16	体育館	S	2	850	1982	S57	38	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	R4.4統合
45		武道場	20	武道場	S	1	405	1992	H4	28	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	R4.4統合
46	都賀中学校	校舎1(南)	2	校舎	RC	3	4113	2010	H22	10	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
47		校舎2(北)	5	校舎	RC	3	2242	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
48		多目的ホール	4	その他	S	1	413	2010	H22	10	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
49		体育館	6	体育館	S	1	1663	2003	H15	17	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
50		武道場	7	武道場	S	1	847	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
51	西方中学校	校舎	9	校舎	RC	3	3465	2012	H24	8	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
52		体育館	2	体育館	S	1	781	1966	S41	54	旧	済	済	H24	-	長寿命	A	A	A	B	B	94	
53	岩舟中学校	校舎1(北)	1	校舎	RC	3	3391	1976	S51	44	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	D	D	D	34	
54		校舎2(南) 昇降口	2、3	校舎	RC	3	3344	1977	S52	43	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	D	D	D	34	
55		校舎3(倉工木工室)	4	校舎	S	1	346	1977	S52	43	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	
56		体育館	8	体育館	S	2	1552	1979	S54	41	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	
57		武道場	17	武道場	S	1	620	1979	S54	41	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	B	C	C	66	

(3) 今後の維持・更新コストの検討

① 今後の維持・更新コスト（従来型）

標準的な50年で建替える従来の修繕・改修を今後も続けた場合、今後40年間のコストを試算すると総額で1,169億円（29.2億円/年）かかります。これは、過去5年間（H27～R1）の施設関連経費20.2億円/年と比較すると1.4倍となります。

特に、今後の令和3（2021）年度～令和12（2030）年度の10年間にかけては、建替えが集中するため年間43.2億円の経費が必要となります。この費用については、過去5年間の経費の施設関連経費の平均に対して2.1倍のコストがかかります。



コスト試算条件（従来型）	
基準年度：2020年	試算期間：基準年の翌年度から40年間
改築	更新期間：50年 工事期間：2年 改修単価 360,000円/㎡ 実施年数より古い建物の改修 10年以内に実施
大規模改造	実施年数：20年周期 工事期間：1年

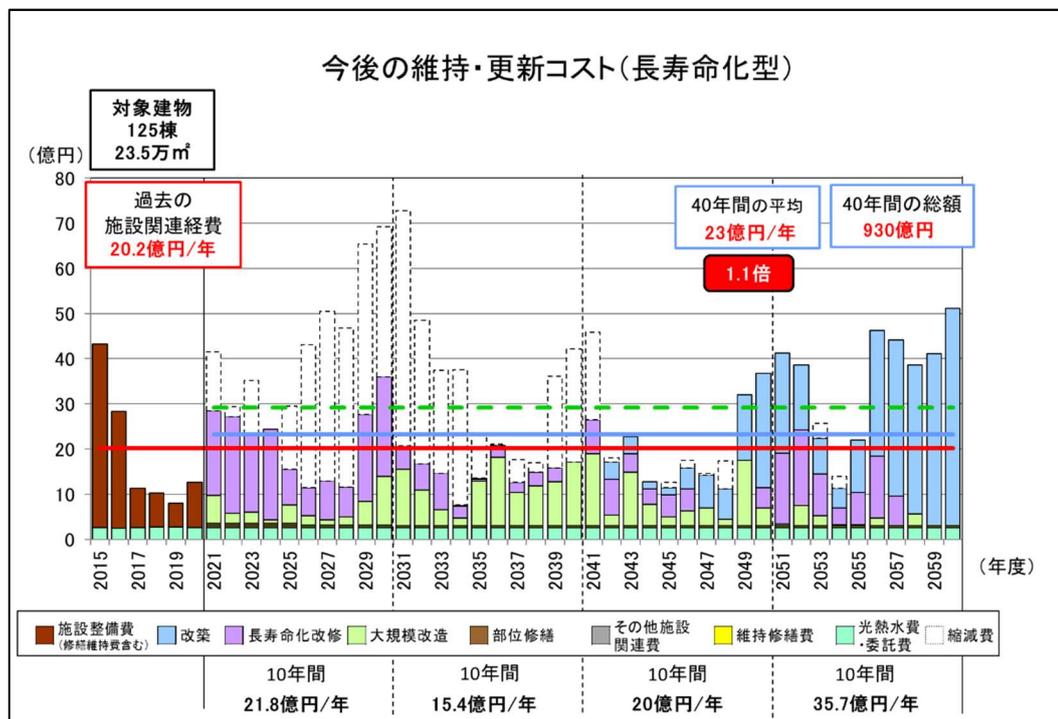
② 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

建替え中心から改修による長寿命化に切り替えていくためには、計画的に機能向上と機能回復に向けた修繕・改修を建築物全体でまとめて実施する必要があります。

長寿命化により建築物の寿命を80年とした場合の今後40年間の維持・更新コストを試算すると総額930億円（23億円/年）となり、従来の建て替え中心の場合の1,169億円（29.2億円/年）より総額239億円（6.2億円/年）、約21%の縮減となります。

特に、令和3（2021）年度～令和12（2030）年度の10年間にかけては、改築から長寿命化改修に改めることにより、43.2億円/年に対して21.8億円/年となり、年間21.4億円の削減が見込まれます。

しかしながら、過去5年間の施設関連経費20.2億円/年に対しては、1.1倍のコストがかかるため長寿命化を進めるうえでも検討すべき課題があります。



※長寿命化型のコスト試算については、藤岡第二中学校を含めておりません。

コスト試算条件（長寿命化型）	
基準年度：2020年	試算期間：基準年の翌年度から40年間
改築	更新周期：（改築）50年（長寿命）80年 工事期間：2年
長寿命化改修	改修周期：20年 工事期間：2年
大規模改造	実施年数：20年周期 工事期間：1年
部位修繕	D評価：今後5年以内に部位修繕を実施 C評価：今後10年以内に部位修繕を実施 （ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く） A評価：今後10年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

コスト（円/㎡）			
	校舎	体育館	武道場
改築	360,000	340,000	300,000
長寿命化改修	60% 216,000	60% 204,000	60% 180,000
大規模改造	25% 90,000	22% 74,800	22% 66,000

## 4. 学校施設整備の基本的な方針等

### (1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

#### ① 栃木市公共施設適正配置計画（第1期）【平成29（2017）年3月】

平成29（2017）年3月に策定した「栃木市公共施設適正配置計画（第1期）」は、公共施設の最適化の実現に向け施設用途ごとに縮減目標を定め、横断的な再編や保全のあり方を示し、行動に繋げていくための計画です。

この計画における「学校教育系施設」の位置づけ

#### (ア) 施設縮減への取組み方針

栃木市立小中学校適正配置基本方針（平成28（2016）年2月策定）に基づき、本市における学校の適正規模を下まわる学校をはじめ、全ての学校を対象に適正配置（統廃合を含めた課題解決）を検討する。

今後の市内の年少人口減少を勘案した場合には、余裕教室の増加が予想される。

そうした中、時代に即した教育環境を整備しながら、余裕スペースの有効活用を実現するため、その他の施設との複合化を図る。

老朽化が進んだ学校等の更新（建替え）時には、現状の児童生徒数で必要な教育環境をシンプルに整備する。（過大な整備をしない）

学校給食施設の整備方針に基づき、学校給食実施方式の見直しを行い、施設の統廃合により施設個数の縮減に向けた整備を検討する。

#### (イ) 施設の縮減目標（学校教育系施設）

第1期適正配置計画期間	平成28（2016）年～令和7（2025）年
縮減率	7%
縮減床面積	18,400㎡以上
令和7（2025）年度末総床面積	244,000㎡以下

#### ② 栃木市立小中学校適正配置基本構想【平成31（2019）年1月】

本市では、今後10年後、20年後に予想される児童生徒の減少を考慮し、「必要な学級数・児童数」、「望ましい（学級）規模」の確保を目標とした地域別の学校の在り方を示した「栃木市立小中学校適正配置基本構想」を、平成31（2019）年1月に策定しました。

この基本構想では、小学校30校を10年後（2030年）27校～26校に、20年後20～18校に、中学校14校を10年後（2030年）11校に、20年後（2040年）10校に統合を進めていきます。

「栃木市立小中学校適正配置基本構想」【平成31（2019）年1月】				
①目指す学校規模				
	10年後（2030年度）		20年後（2040年度）	
小学校	「必要な学級数・児童数」の基準を当てはめ、1学級16人程度で、6学級以上を満たしている。 複式学級の解消ができています。 【30校 ⇒ 27校～26校】		「望ましい（学級）規模」の基準を当てはめ、12学級以上を満たしている。  【30校 ⇒ 20校～18校】	
中学校	「必要な学級数」の基準を当てはめ、6学級以上を満たしている。  【14校 ⇒ 11校】		「望ましい（学級）規模」の基準を当てはめ、9学級以上を満たしている。  【14校 ⇒ 10校】	
②地域別の学校数の目安（20年後）				
小学校	栃木中央地域 5 ⇒ 4校	栃木東部地域 4 ⇒ 3～2校	栃木西部地域 4 ⇒ 2校	大平地域 4 ⇒ 4～3校
	藤岡地域 4 ⇒ 2校	都賀地域 3 ⇒ 2校	西方地域 2 ⇒ 1校	岩舟地域 4 ⇒ 2校
中学校	栃木中央地域 3 ⇒ 2校	栃木東部地域 1 ⇒ 1校	栃木西部地域 3 ⇒ 1校	大平地域 2 ⇒ 2校
	藤岡地域 2 ⇒ 1校	都賀地域 1 ⇒ 1校	西方地域 1 ⇒ 1校	岩舟地域 1 ⇒ 1校

## （2）改修等の基本的な方針

対象施設となる小中学校42校について長寿命化を推進しますが、同時に小中学校適正配置基本構想に基づく学校再編の取組を進めます。

今後、学校施設の老朽化がさらに進行し改修費用等の増加が見込まれる中、将来の財政状況を考慮しつつ施設の安全性を確保して行くためには、建物の通常での適切な維持管理と計画的な修繕整備が重要です。

そのため、従来のような老朽化による劣化・破損等の不具合が生じた後に保全を行う「事後保全」から、計画的に施設設備の点検・修繕等を行い、劣化や損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施することで不具合を未然に防止し、機能の維持・回復を図る「予防保全」へ維持管理の手法を転換します。

ただし、将来の児童・生徒数が引き続き減少傾向となることから、現在の学校施設規模から将来の適切な規模に見直していくことも必要となります。

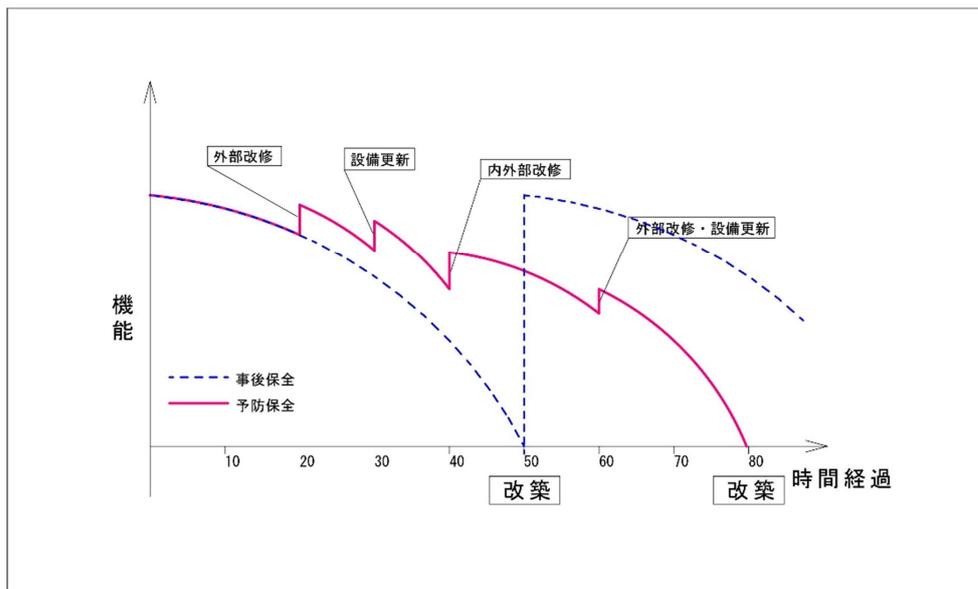
その際、空き教室等の有効活用をより一層進め、建築年次の古い建物などの機能を移転し、保有施設を減らしていくことも検討します。

### (3) 目標使用年数、改修周期の設定

長寿命化における学校施設の目標使用年数は、80年とします。

築年数40年以下の建物においては、目標使用年数まで使用するため建物の部位ごとに必要な改修の周期を設定し、周期に基づき計画的な改修を行なっていきます。

また、築年数40年を越える建物については、建物状況に合わせた修繕工事を実施し使用期間を延ばします。



※参考

- ・「建築物の耐久計画に関する考え方」社団法人日本建築学会、S63年より  
鉄筋コンクリート造学校の場合、普通品質で50～80年、高品質の場合は80～120年が望ましい目標使用年数です。  
鉄骨造の場合、錆びに対するメンテナンスを適切に実施していくことで、RC造の建物と同程度の長寿命化が可能です。
- ・学校施設の税法上の減価償却に基づく耐用年数は、RC造で47年、S造で34年です。

## 5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

### (1) 改修等の整備水準

学校施設整備の基本的な方針と各学校施設の劣化状況調査の結果を踏まえるとともに、児童生徒数の推移や学校及び地域のニーズを考慮し、以下の整備項目を検討します。

- ① 安全性・耐用性の確保と維持
  - 1) 屋上・屋根：防水改修等
  - 2) 外壁：仕上げ改修（塗装、吹付等）、クラック補修、浮き補修等
  - 3) 内装：建具改修、床・壁・天井改修、建具の補修・更新等
  - 4) アスベスト対策
  - 5) 防犯カメラの設置
  - 6) 避難所としての安全対策及び設備対応
  - 7) 外構(塀、側溝等)の安全対策
- ② 機能性・快適性の確保と維持
  - 1) 受変電、照明設備等の更新
  - 2) 空調の整備・更新
  - 3) 給排水設備の更新（受水槽、建物内配管等）
  - 4) トイレ改修（洋式化、ドライ化）
  - 5) ICT 環境整備
  - 6) バリアフリー化（スロープ等）
  - 7) 放送設備機器や各配線の更新
  - 8) 多様な学習内容・形態及びコミュニティ活動に必要なスペースの確保
  - 9) 校地及びグラウンドのフェンス及び雨水排水対策
- ③ 環境・省エネへの配慮
  - 1) 断熱性能、遮音性能の向上
  - 2) 設備の効率化（LED 照明等）
  - 3) 下水道整備地域内の下水道接続
  - 4) 自然エネルギーの活用

主要な部位の更新周期については、次の表を基本として改修スケジュールを検討する。

部 位	更新周期（年）
屋上防水・屋根	20
外 壁	15
電気設備	30
給排水設備	30
空調設備	15

## (2) 維持管理の項目・手法等

建物の劣化は完成した時から始まり、利用状況による経年変化から生じる損傷、汚れ、老朽化の進行に伴い、建物本来の機能を低下させます。

学校施設を安全で良好な状態で使用するため、日常的な点検に加え定期的・専門的な点検を実施することが重要です。

点検の結果から建物の劣化状況を把握し、それらを早期に改善することで、児童生徒の安全を確保します。また、大規模な補修になる前に対応することで、修繕費用の縮減につなげます。

### ① 法定点検

建築基準法第 12 条に定める点検を、専門知識のある業者に委託し 3 年に 1 度実施します。

電気設備や機械設備、消防用設備等は法令で定められた時期に定期点検を実施します。

### ② 自主点検

各学校においては、毎月の学校施設定期点検を行いその結果を学校施設課に報告します。

また、日常的な点検において危険箇所等の不具合が発見されたときは、その都度学校施設課に報告します。

その他、台風やゲリラ雷雨、地震発生後等においては、緊急的な臨時点検を行います。

## 6. 長寿命化の実施計画

### (1) 改修等の優先順位付けと実施計画

学校施設の現状としては、築 50 年以上を経過している建物があるほか、築 30 年以上を経過している建物の棟数が 75%を占めている状況であります。

建物の長寿命化を進めた場合の試算でも、直近 10 ヶ年は年間 21.8 億円の経費が必要となることから、整備にあたっては、費用対効果を踏まえた優先順位を決定し実施していく必要があります。

今後の整備計画を策定するにあたり、対象建物を築年数に応じて 4 つのグループに分類します。

- (ア) 建築年数 20 年以下
- (イ) 建築年数 21 年から 30 年以下
- (ウ) 建築年数 31 年から 40 年以下
- (エ) 建築年数 41 年以上

グループ(ア)、グループ(イ)については、中規模修繕・大規模改修を計画的に行い、目標の 80 年までの長寿命化を進めます。

グループ(ウ)については、大規模改修を行なったのちに劣化状況に応じた部位修繕を行い、目標の 80 年までの長寿命化を進めます。

グループ(エ)については、劣化状況に応じた部位修繕を行い、建物の長寿命化を進めます。

改修の優先順位としては、

- ・ 築年数
- ・ 過去の改修履歴
- ・ 劣化状況調査結果

これらを基に、総合的に判断し改修の順位を決定します。

なお、中規模修繕、大規模改修等については、基本的に棟単位で行います。

### (2) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～

前述にあるように、長寿命化により学校施設の寿命を 80 年とした場合の今後 40 年間の維持・管理コストは、約 21%の縮減となりますが、今後の 10 年間については、長寿命化改修工事が集中することとなり年間 21.8 億円の費用が必要となり、過去 5 年の年間投資的経費の約 1.1 倍に増加すると見込まれています。

今後、児童生徒が減少する中で、施設の維持・更新費用が増加するという矛盾を抱えることとなるため、施設保有の在り方、維持・更新コストの削減及び財源確保が大きな課題となります。

そのため、栃木市全体の保有施設を減少させる「栃木市公共施設適正配置計画」とも整合をとり、義務教育学校や児童保育施設等との複合化も検討していきます。

さらに、栃木市小中学校適正化配置基本構想に基づき、統廃合の計画が決定した時点で整備や改修が必要となる学校施設については、最優先で実施することとします。

また、これまでと同様に緊急的な部分改修については、児童生徒の安全性を確保するため長寿命化改修計画とは別に実施していきます。

## 7. 長寿命化計画の継続的運用方針

### (1) 情報基盤の整備と活用

各学校において、学校施設の基本情報、運営費、修繕等の工事履歴や劣化状況などの一元管理を進めます。

学校施設の長寿命化にあたっては、建物情報を一元管理することにより、学校施設の正確な現状把握、さらに施設整備計画に反映させていきます。

### (2) 推進体制等の整備

本計画を継続的に運用するために、庁内の関係課と連携を図り、全庁的な体制で取り組みます。

### (3) 計画の見直しとフォローアップ

本計画は、5年ごとに見直すことを基本とし、市の財政状況や制度変更等に合せて適宜見直を行います。

また、点検結果に基づく学校施設の劣化状況を注視するとともに、「栃木市小中学校適正配置基本構想」の進捗に合せ、本計画を随時見直します。

栃木市教育委員会事務局

教育部 学校施設課



栃木市小中学校施設長寿命化計画  
令和3年(2021年)3月

〒328-8686  
栃木県栃木市万町9番25号  
栃木市教育委員会事務局  
教育部 学校施設課  
TEL 0282-21-2465  
FAX 0282-21-2689  
E-mail [gakusi02@city.tochigi.lg.jp](mailto:gakusi02@city.tochigi.lg.jp)